

令和4年度 年間指導計画(シラバス)

学科	教科	科目(講座名)	対象学年	単位数	教科書	使用教材
福祉教養科	家庭	生活産業基礎	1	2	なし	生活産業基礎 (実教出版)
学習の到達目標			生活産業や関連する職業について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 生活産業や関連する職業に関する課題を発見し、生活産業を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 生活産業や関連する職業への関心を高め、適切な進路選択と専門性の向上を目指して自ら学び、生活産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。			
時限	1・2	単元	学習内容		到達度目標(学習のねらい)	
前期	4月	第1章「生活産業基礎」を学ぶ	第1節 私たちの生活と「生活産業」		働くことの社会的な意義について理解する。 産業や職業に関わる法令などを遵守することの重要性について理解する。 経済の発展や技術革新、情報化の進展などに伴って、産業構造が変化していることについて理解する。	
			第2節 「生活産業」のスペシャリストになるために		人々の生活に対する価値観が多様になり、働き方やライフスタイルが多様化している現状を理解する。	
	5月	第2章 生活に対応した商品・サービスの提供	第1節 消費者ニーズの把握		生活産業の各分野において、マーケティング管理の考え方が必要であることを理解する。	
			第2節 商品・サービスの企画・開発及び販売・提供		新しい商品やサービスは、市場調査の結果などを基に製品開発の方針を決め、様々な企画を検討して試作を繰り返しながら製品化されていくことを理解する。	
	6月	第3章 食生活関連分野の産業と職業	第3節 関係法規		生活産業にスペシャリストとして従事したり、生活産業に関わる事業を展開したりするために必要な資格の根拠となる法規、許認可の必要な業種、商取引に関する基礎的な法的知識について理解する。	
第1節 食生活の変化と生活産業のかかわり			食生活に関わる産業について、意義と役割を理解する。 人々の食に対する意識や価値観が多様化していることや、多様なライフスタイルに対応した外食や中食の利用など、食生活が変化している実態について理解する。			
7月	9月	第3章 食生活関連分野の産業と職業	第2節 食生活関連産業の職業と資格		食生活関連分野の様々な資格や職業について、興味・関心をもつ。	
			第1節 衣生活関連分野の産業と職業		衣生活に関わる産業について、意義と役割を理解する。 ファッションが個性化し、多品種少量生産になっていること、ファッションがライフスタイル全般を提案するようになってきている状況を理解する。 衣生活関連分野の様々な資格や職業について、興味・関心をもつ。	
後期	10月	第4章 衣生活関連分野の産業と職業	第2節 衣生活関連産業の職業と資格		衣生活に関わる産業について、意義と役割を理解する。 人々がライフスタイル、価値観、感性に合った住居を求めている状況を理解する。	
			第1節 住生活関連分野の産業と職業		住生活に関わる産業について、意義と役割を理解する。 人々がライフスタイル、価値観、感性に合った住居を求めている状況を理解する。	
	11月	第5章 住生活関連分野の産業と職業	第2節 住生活関連産業の職業と資格		住生活関連分野の様々な資格や職業について、興味・関心をもつ。	
			第1節 社会の変化とヒューマンサービスの産業と職業		ヒューマンサービス関連分野の産業について、意義と役割を理解する。 少子高齢化、ライフスタイルや価値観の多様化に伴ってヒューマンサービス関連分野に対する需要が高まっている状況を理解する。	
	12月	第6章 ヒューマンサービス関連分野の産業と職業	第2節 ヒューマンサービス関連産業の職業と資格		ヒューマンサービス関連分野の様々な資格や職業について、興味・関心をもつ。	
1月			第7章 職業生活と自己実現	第1節 職業生活と生きがい		生活産業の職業人に求められる資質や能力として、人や生活に対する理解、衣食住、ヒューマンサービスに関わる専門的な知識や技術、コミュニケーション能力などがあることを理解する。 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)を考えた働き方が大切であることに気づく。
	2月	第7章 職業生活と自己実現		第2節 将来の生活と学業		生活産業を担う職業人に必要な知識や技術などの資質・能力は、専門科目の学習を通して身に付けていくことができることを理解する。